

主催事業

- 7月 おしゃべりサロン
 9月 敬老会
 10月 ハイキング
 11月 県外研修会
 1月 一人暮らし高齢者友愛訪問
 3月 学習会

み か げ

笠間市社会福祉協議会



稲 田 支 部

第13号

令和元年7月20日発行

発 行 笠間市社協稲田支部
 支部長 高橋 一夫
 編 集 稲田支部広報委員会
 印 刷 大塩企画

**令和元年度事業がスタート!**

社協稲田支部総会開催 役員改選行われる

年号も令和となつて、社会福祉協議会稲田支部総会が五月二十五日(土)午前十時から、稲田公民館で開催されました。

役員の任期は二年で、本年度は改選の年度にあたります。高橋副支部長が新たに支部長となり、副支部長に稲野辺耕一氏を迎えました。広報委員、運営委員も一部改選となり、令和元年度の社協稲田支部がスタートしました。詳しくは次ページの役員一覧表をご覧ください。

新たなメンバーのもと、平成三十年事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算案について審議があり、承認されました。本年度も広報紙の発行、おしゃべりサロン、敬老祝賀会、ハイキング(歩く会)、県外研修会、一人暮らし高齢者友愛訪問、学習会等を予定しています。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

ご挨拶



支部長

高橋 一夫

新聞のコラムから

人生の終わりに、人はどんなことを思うのだろうか。千人以上の患者を看取った緩和医療医の天津秀一さんが著書『死ぬときに後悔すること25』に書いている。「健康を大切にできなかったこと」「自分のやりたいことをやらなかったこと」。患者の多くが「人生はあったという間だった」と言い残していた。「他人に優しくしなかったこと」「後悔している人もいる。「記憶に残る恋愛をしなかったこと」「愛する人にありがとと伝えなかったこと」。大切な人には元気なうちから「ありがと」と言おう。

佳き人生を豊かにサポートできる社協稲田支部でありたいと思う。



副支部長

宮崎 守

社協に参加して4年目に入りました。皆様のご協力を頂き、地域を盛り上げたいと頑張っております。まだまだ先の長い人生、社協の行事に是非参加して下さい。おしゃべりサロン、ハイキング、そは打ち教室（協力事業）など！100歳人生を楽しみましょう。



副支部長

稲野辺耕一

本会の役員改選に伴い副支部長の要職をお受け致しました。何分不慣れでございますが、諸先輩方が築き上げてこられた実績と信頼を踏まえ、微力ではありますが地域福祉の充実と発展のため努めて参りますので、ご指導とご協力をお願い致します。



会計

足立 登

早いもので、会計を担当して4年目に入りました。社協稲田支部は、地元・稲田の住民からの会費により福祉活動を行っています。「この町に住んで良かった。」と思えるまちづくりのために、微力ながら会費を大事に役立てたいと考えています。

支部役員

役 職	氏 名	現 職 等
支部長	高 橋 一 夫	公民館長
副支部長	宮 崎 守	第110区長
副支部長	稲 野 辺 耕 一	学識経験者
会 計	足 立 登	第97区長・公民館主事
監 事	柳 橋 好 和	第99区長
監 事	鈴 木 正 平	第95区長
広報委員	梅 原 守	民生委員・児童委員
広報委員	椎 名 芳 男	民生委員・児童委員
広報委員	潮 田 浩	民生委員・児童委員
運営委員	長 瀬 喜 久 夫	第88区長
運営委員	市 原 正 美	第89区長
運営委員	野 沢 典 男	第90区長
運営委員	稲 野 辺 好 男	第91区長
運営委員	五 十 嵐 久 次	第92区長
運営委員	三 村 則 子	第93区長
運営委員	鈴 木 隆	第94区長
運営委員	湯 浅 修	第96区長
運営委員	荒 木 明	第98区長
運営委員	中 野 勝 夫	第100区長
運営委員	稲 野 辺 直 子	民生委員・児童委員
運営委員	奥 村 雄 治	民生委員・児童委員
運営委員	小 林 早 苗	民生委員・児童委員
運営委員	長 谷 川 泉	前支部長
運営委員	中 野 治 美	公民館運営審議委員
運営委員	田 村 み さ 子	予防医学指導士
運営委員	佐 藤 正 子	ボランティア役員
運営委員	鉾 田 ま さ の	ボランティア役員
運営委員	鈴 木 篤 子	ボランティア役員
運営委員	椎 名 み の り	高齢者クラブ会長
運営委員	鈴 木 彰	高齢者クラブ会長
運営委員	森 田 紹 也	元子ども会会長
運営委員	久 野 建	子ども会会長

平成三十年度事業報告

県外研修会

二月十八日(月) 県外研修会として、迎賓館赤坂離宮、豊洲市場の見学を実施しました。大変人気のある事業で、受付開始後、あつという間に予約は埋まってしまいました。

歴史や外交の舞台となった迎賓館のすばらしい建築物や調度品の数々には目をみはるばかりでした。また日本の食を支える最新設備の豊洲市場見学も有意義なものとなりました。



学習会

「親鸞と稲田について」

二月二十三日(土) 稲田公民館で、笠間市文化財保護審議委員 矢口圭二先生より、「親鸞と稲田について」の講話がありました。当時の日本の社会の様子から始まり、親鸞の生涯と思想・事績を多方面から分かりやすく話してくださいました。

親鸞については全国全ての小・中・高校生が学習しています。そんな偉人が稲田の地に約二十年間滞在し布教、研究に励んでいたことは、心に留めておきたいものです。



この人に聞きました

民生委員・児童委員

小林早苗さん



ようにしています。

Q 活動のご苦労はありますか。

地域や住民をよく知らないところから始まったので、それが大変でした。対応困難なときの対処も難しかったです。

Q よかったこと、うれしかったことは何ですか。

訪問したときに「だいじょうぶだよ」と言ってくれたときは安心します。委員どうしの交流もよかったことの一つです。

Q 今後の抱負を教えてください。

委員の活動にこれで十分ということはないので、今後も対象者に寄り添いながら支援していきたいです。

Q 地域の方へメッセージはありますか。

元気が一番。不安なことがあったら、どんな些細なことでも相談してください。

小林さんは、三人家族の主婦。農業のかたわら、ボランティア「みかげ」の活動にも熱心に取り組んでいます。友達との外出を楽しみ、漬物や梅干づくりが趣味と話してくれました。

Q どんなことを心がけて活動していますか。

世間話や田畑の仕事の話などをきっかけに、対象者の話をよく聞く

解決を図ります。

Q 受け持ちの区域はどこですか。

九十九区と百区です。

Q 活動の内容を教えてください。

一人暮らしの高齢者と高齢者のみの世帯、保護の必要な児童が見守り支援の対象者です。

対象者の見守り・支援・相談を行っています。必要があれば、市や関係者、市社会福祉協議会に連絡し、問題の解決を図ります。

Q 今後の抱負を教えてください。

委員の活動にこれで十分ということはないので、今後も対象者に寄り添いながら支援していきたいです。

Q 地域の方へメッセージはありますか。

元気が一番。不安なことがあったら、どんな些細なことでも相談してください。

平成30年度事業報告

月 日	事 業 名
5月19日	平成30年度総会
7月14日	おしゃべりサロン「高齢者を狙う消費者トラブル」 講師 諸橋精一先生
7月29日	稲田ふれあい祇園まつり協力
6月30日	広報紙第11号発行
8月19日	子ども会陶芸教室協力
9月17日	稲田地区敬老会
10月27日	ハイキング（稲田再発見）
11月 3日	稲田公民館文化祭協力
11月 4日	稲田公民館文化祭協力
11月18日	稲田公民館芸能発表会協力
12月 2日	そば作り教室協力
1月19日	一人暮らし高齢者友愛訪問
1月26日	笠間市福祉大会
2月18日	県外研修会（迎賓館、豊洲市場）
2月23日	学習会「稲田と親鸞」 講師 矢口圭二先生
3月10日	広報紙第12号発行

令和元年度事業計画

月	事 業 名
5月	令和元年度総会
6月	広報紙第13号発行
7月	おしゃべりサロン
7月	稲田ふれあい祇園まつり協力
8月	子ども陶芸教室協力
9月	稲田地区敬老会
10月	ハイキング（歩く会）
11月	稲田公民館文化祭協力
11月	稲田公民館芸能発表会協力
11月	県外研修会
12月	そば作り教室協力
1月	一人暮らし高齢者友愛訪問
2月	学習会
3月	広報紙第14号発行

平成30年度決算書

1 収入の部 (単位：円)

項 目	決算額	備 考
1 会費還元金	360,000	1戸500円
2 繰越金	268,085	前年度繰越金
3 広報助成金	36,000	会費の5%
4 雑収入	250,002	研修会参加費
合 計	914,087	

2 支出の部 (単位：円)

項 目	決算額	備 考
1 事務費	88,349	
会議費	24,735	総会、他諸費
備品費	0	
消耗品費	4,074	事務用品等
通信運搬費	7,440	葉書・切手
報償費	12,100	講師謝礼
手当費	40,000	役員手当
2 事業費	611,513	
在宅福祉活動費	30,250	高齢者祝品等
地域交流事業費	27,700	地域交流事業
公民館活動支援費	80,000	公民館支援
広報啓発活動費	93,885	広報紙発行
関係団体助成費	50,000	子ども会他支援
研修費	329,118	県外研修会等
損害保険費	560	損害保険料
3 予備費	0	
合 計	699,862	

差引残高 **214,225円** は次年度へ繰り越します。

令和元年度予算書

1 収入の部 (単位：円)

項 目	予算額	備 考
1 会費還元金	360,000	1戸500円
2 繰越金	214,225	前年度繰越金
3 広報助成金	36,000	会費の5%
4 雑収入	240,000	研修会参加費
合 計	850,225	

2 支出の部 (単位：円)

項 目	予算額	備 考
1 事務費	169,000	
会議費	40,000	総会、他諸費
備品費	20,000	書棚等
消耗品費	15,000	事務用品等
通信運搬費	15,000	葉書・切手
報償費	30,000	講師謝礼
手当費	49,000	役員手当
2 事業費	640,000	
在宅福祉活動費	40,000	高齢者祝品
地域交流事業費	50,000	地域交流事業
公民館活動支援費	80,000	公民館支援
広報啓発活動費	120,000	広報紙発行
関係団体助成費	50,000	子ども会他支援
研修費	300,000	県外研修会等
3 予備費	41,225	
合 計	850,225	